



雲南市まちづくり会議発足

6月6日、三刀屋文化体育館アスパルで、雲南市の総合計画を市民とともに策定するためのまちづくり会議が開催されました。

総合計画とは、基本構想、基本計画、実施計画から構成され、平成19年度から8年間のまちづくりの指針となります。

この計画により、各分野における施策や事業展開を図っていくものです。

会議には、公募による市民39名と市職員合わせて約80人が出席し、はじめに会議委員を代表して荒木幸雄さん(大東町)へ速水市長から委嘱状が交付

されました。

委員全体での会議に続き、「協働による自治」、「定住環境の充実」、「安心生活の創造」、「人が輝く教育・文化」、「ふるさと産業の創出」の各分科会に分かれて討議が行われました。今後まちづくり会議は、1か月に1回程度開催され、平成18年7月頃に計画案が市長に提出される予定です。なお、市では平成18年9月議会への議案の上程をめざしています。

| 分科会名 | 委員名・()は出身 | 合計39名◎は分科会長、○は副分科会長(敬称略) |
|-----------|---|--------------------------|
| 協働による自治 | ◎福島弘志(加茂町)、○須山光子(三刀屋町)、別所三子(大東町) 岩佐恭生(木次町)、細木 訓(木次町)、横木壽成(吉田町) 木村智美(掛合町) | |
| 定住環境の充実 | ◎曾田昌吉(大東町)、○早川正三(三刀屋町)、上代悟史(大東町) 沢和 毅(大東町)、石飛郁輔(加茂町)、市場雅延(木次町) 三谷照夫(木次町)、品川俊二(三刀屋町) | |
| 安心生活の創造 | ◎田中康雄(木次町)、○鈴木久美(三刀屋町)、岩田桂子(大東町) 武田ちか子(大東町)、飯塚和陸(加茂町)、小玉登喜子(加茂町) 今岡保時(掛合町) | |
| 人が輝く教育・文化 | ◎松島俊枝(吉田町)、○石飛安弘(掛合町)、荒木幸雄(大東町) 内田慶子(加茂町)、舟木 清(加茂町)、錦織利枝子(木次町) 小早川芳徳(吉田町) | |
| ふるさと産業の創出 | ◎白築徹一(掛合町)、○松谷和夫(三刀屋町)、福間幹典(大東町) 藤原雄司(大東町)、松浦眞司(大東町)、青木征温(加茂町) 星野恵美子(三刀屋町)、多々納正義(吉田町) 松島安江(吉田町) 肥後淳平(松江市) | |



島根大学「地域医療シンポジウム」

in 雲南

問題への解決策などの説明がありました。

続いて行われたシンポジウムでは、住民・行政・大学・病院のそれぞれの立場から代表者による意見発表や会場の参加者を交えた意見交換がありました。

チェリヴァホールを会場に5月29日、まちづくりと地域医療をテーマにした「地域医療シンポジウム」を、島根大学と雲南市の主催で開催しました。

「21世紀の雲南地域医療の課題と展望」と題した講演では、島根大学医学部附属病院の小林祥泰院長から「地域医療こそ医療の原点。地域と大学が連携し、共に、地域に根付いた医学生を育てなくてはならない。入学生の地域枠推薦を設けるなど中長期的な対策が必要」と現在の地域医療

市では、シンポジウムで議論された点なども考慮した各種福祉施策の展開を図っていくほか、平成18年度からは全国に先駆け身体教育医学研究所を設置する予定にしております。生涯現役を合言葉に事業に取り組んでいきます。

農業用排水の水質保全・水酸化等生活環境の向上に

農業集落排水事業 日登地区竣工



日登地区推進委員長 陶山直利 雲南市助役 内田孝志 木次農村振興センター所長 石倉貞雄

300m、総事業費21億5千300万円をかけて整備されました。

当地区は河川横断が多く、また流水方向に対し逆勾配になる箇所があることから、ある程度の逆勾配に対応する真空汚水収集方式(真空の力を利用し、各家庭からの生活排水・汚水を搬送・収集するシステム)が一部採用されました。

通水式は東日登の処理場で行われ、出席者は、真空ステーションなど最新式の機器や水処理施設を見学した後、会場を木次農村環境改善センターへ移し、竣工式により事業の完成を祝いました。

だれもが生涯現役で過ごせるまちづくりをめざして

雲南市身体教育医学研究所(仮称)設立準備委員会開催

当日は、先駆的に取り組んでいる長野県東御市の身体教育医学研究所の取り組みについての説明を受け、雲南市の研究施設設立の理念や位置づけなどの確認や具体的に取組む事業について協議が行われました。

市では研究所設立に向け、東京大学や島根大学、医師会や医療機関が参加した全国ネットワークを確立し、市民のみなさんにとって有効な研究所となるよう、今後さらに検討を重ねていきます。



雲南市では生涯現役でいきいきと生活できるまちづくりをめざし、小児期からの健康づくりを推進していきます。そのため、身体のことを研究した成果を健康・体力づくり運動に役立てるための『雲南市身体教育医学研究所(仮称)』を来年4月から設置することとしています。

6月6日、サンワーク木次で、研究所設立にむけた第1回準備委員会を開催しました。



速水市長から準備委員を代表して武藤教授へ委嘱状が交付されました。

雲南市身体教育医学研究所設立準備委員名(敬称略) ※市関係者を除く、◎は委員長

- | | | | |
|--|---|---|--|
| ◎東京大学大学院教授 身体教育医学研究所研究部長 島根大学医学部教授 玉造厚生年金病院院長 雲南市大原医師会会長 島根県保健環境科学研究所所長 | 武藤 芳照 岡田 真平 塩飽 邦憲 上尾 豊二 西村 昌幸 大城 等 | 東京農業大学講師 ブルーシー・アンド・グリーンランド財団課長代理 島根県医師会常任理事 公立雲南総合病院副院長 飯石医師会会長 島根県雲南保健所所長 | 上岡 洋晴 大関真理子 葛尾 信弘 松井 讓 陶山 吉朗 杉原 純 |
|--|---|---|--|

整備が進められてきた木次町の日登地区農業集落排水事業がこのほど完成し、地元住民や市・工事関係者など約90人が出席し、通水式と竣工式が行われました。

日登地区の同事業は、寺領小学校などからの流入を含めて計画処理人口1千470人、汚水を集水する管渠の延長2万